

コミュニティ・スクール委員会だより

にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会 会長 佐藤 友厚



CS委員！ 全員集合

二小も

井口小も

二中も

地域も

垣根を越えて

街ぐるみで、子どもたちのために
どんなことができるだろう？

小学校と中学校はどうやって
連携したら良いだろう？

地域と学校が育ち合う
関係を持つためには？

この街ならではの
取り組みってなんだろう？

※紙面の都合上、「コミュニティ・スクール」を「CS」と略すことがあります。ご了承ください。

新委員ご挨拶

高寄浩三
第二小学校校長



今年度、第二小学校に校長として着任しました高寄浩三（たかさきこうぞう）です。三鷹で仕事をさせていただくのは初めてになります。三鷹といえばコミュニティ・スクールが有名です。その中でも一番歴史があるにしみたか学園に来ることができて、本当にうれしく思っています。にしみたか学園での教育活動を楽しみながら、コミュニティ・スクールへの理解を深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



五味川直季
井口小学校長

4月に井口小学校に校長として赴任しました五味川直季（ごみかわなおき）と申します。以前、教員として働いていた井口小学校に戻ることができ、とてもうれしく思っています。地域・保護者・学校が三位一体となり、子どもたちをあたたく見守っていく、「あたたかい学校」づくりを目指して頑張ります。今後とも、にしみたか学園・井口小学校へのあたたかいご支援のほど、よろしくお願いいたします。



藤田尚子
井口小地域
子どもクラブ代表

今年度、コミュニティ・スクール委員に選出されました井口小地域子どもクラブの藤田です。地域子どもクラブには、それぞれ愛称があり、井口小は「井口フレンド」二小では「さくら子ども広場」と呼ばれ放課後の子どもたちの居場所づくりをしています。子どもも大人もこの地域が安心して学び憩える居場所となるよう微力ながらお手伝いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



井口フレンドロゴ



武津なつ美
二小PTA役員

二小PTAから新しく参加させていただきました。武津なつ美と申します。コミュニケーション推進部で活動させていただくことになりました。大人も子どもも「にしみたか」って、「楽しい！大好き！」と思えるような地域づくりの一助になればと思っています。まずは私自身、もっともっとにしみたかの魅力を知っていきたく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



宮崎望
教育行政経験者

この度、にしみたか学園CS委員に加えて頂きました宮崎です。西部住協の事務局長をしております。一昨年、西部住協が発足して創立40周年を迎えました。当地区では30年以上前から、二小地区児童生徒健全育成連絡協議会という取り組みが実施されており、市内で最初のコミュニティ・スクールが誕生する下地があったのだと思います。今後も学校、家庭、地域の連携・協働による次世代育成支援のお手伝いできればと思っています。



井上和香奈
二小PTA役員

二小PTAの井上です。長女がこの4月から小学校に通い始めたのに感化され、私もPTAに飛び込んでみました。CS委員会に入ったことで、今までの「親の目」に加えて「地域の大人の目」も持って、このにしみたかの地域を見ようと思うようになりました。この地域の「今ある良さ」をもっと深く知り、「新しいおもしろさ」を発見し、発信していけたらと思います。よろしくお願いいたします。

今年も情勢に合わせてながら、元気に活動中です！今後の活動にも乞うご期待！

退任のお知らせ

上松久美子第二小学校校長、大澤彰様、菊込希井口小学校校長、平野一弥様、結城ちえみ様、吉野明義様、吉野裕作様の7名は、昨年度をもってCS委員を退任されました。これまで活動を支えていただきありがとうございます。



にしみたか学園ホームページ

本紙はコミュニティ・スクール委員会コミュニケーション推進部（CS委コミ推部）が企画編集しています。CS委員会に関してご意見・ご質問・ご相談などありましたら、メンバーまでお気軽にお寄せください。

※記事に関するお問合せ・ご意見・ご感想などありましたら prowestmitakacs@gmail.com へお寄せください。

CSってなんだろう？



佐藤 友厚
コミュニティ・スクール委員会
会長

今年度にしみたか学園CS委員会の会長となりました佐藤友厚です。

最初に簡単な自己紹介をさせていただきます。私は井口小、二中でPTA会長をした縁からCS委員になりました。私の子がにしみたか学園に最初に入学した時、CS委員会は発足2年目でした。この頃、我が家でCSと言えばプロ野球のクライマックス・シリーズであり、コミュニティ・スクールのことをCSと略すことを知ったのは、保護者として4年目の頃だと思います。そのため、この紙面を読んでいる方の3割くらいはCSを全く知らない、6割くらいがCSって何か聞いたことがある方ではないかと想像しています。本号は、そんな方に何となくCSがわかるよう紹介していますので、気楽に読んでいただければと思います。

スクールとは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む制度で、「地域とともにある学校」のことをいいます。私の解釈では「オラが街の学校はオラたちの手で！」といった感じですね。ちなみに、にしみたか学園は二小、井口小、二中の三校で構成されており、にしみたか学園CS委員会は、この三校を地域で支えていくために委員が集まっています。委員は校長、副校長、交通対、青少対、西部住協、PTA役員等が勤めており、学校、地域、保護者が垣根を越えて子どもたちのために何ができるか考えています。そして地域では、町会・自治会の方、農家や企業の方が様々な取り組みに手を貸してくれています。最後に、CSのやっていることは、学園長、副会長から紹介させていただきますので、引き続き、読んでみてください。

CS委員会の活動

CS委員会は、学校・地域・保護者などの団体からメンバーが参加し、特色のある学園づくりを目指し、活動の中で育まれた繋がりを活かして、地域コミュニティが育っていくことを目指しています。CS委員会には3つの部があり、委員はいずれかの部会に所属し、活動しています。

コーディネーター部



米川 充 部長
メンバー
正洋 三恵 香奈 浩三 浩之
橋本 尚子 和香 大西
永井 藤井 高西
伸一郎 亜希 美枝 美宜 敏生
岩本 直人 井上 寺田 丸山 島田

今年度から副会長と、地域との連携などを担当するコーディネーター部部長を仰せつかりました米川充です。

PTAデビューでいきなり二小のPTA会長になって4年目、CSは3年目です。しかし、「コロナ禍により、部会での実務経験を十分に積めぬままに担当となってしまい、正直不安でいっぱいです。

そこで、そもそも「コーディネーター」とは何か、改めて辞書で引いてみました。「各部を調整し、全体をまとめること（『デジタル大辞泉』『小学館』）「簡潔な説明ながら、なんとも大変そうです。」

このため、今年度は思い切って「コーディネーター未満」を宣言してみたいと思います。

この学園のエリアには、とても多彩な地域の方々がいっぱい、都市農地にも恵まれています。近隣には大学や研究機関、貴重な遺跡も存在しています。しかし、子どもたちはそれらの存在に十分に出会えていないでしょうか？学べているのでしょうか？

これからの不透明な変化の時代。私たち大人がすべきことは、子どもたちが多様な人々や物事に触れ、自ら探求していくのを応援してあげることではないでしょうか。そのために、まずは「まとめる」以前の「機会の充実」に向けて、皆さまのお力をお借りできましたら幸いです。

昨年からの新型コロナウイルス感染症による感染が収まらない中、令和3年度が始まりました。本年はCS委員の方々の交代の時期でもあり、にしみたか学園の地域や学校教育を理解されている方々を学校が推薦し三鷹市教育委員会が任命した特別職の公務員です。また、本年は第二小学校に高寄浩三校長先生、井口小に五味川直季校長先生をお迎えして学園の運営も始まりました。にしみたか学園では現在「にしみたか学園のめざす児童・生徒像」の具体化に向けた行動指針である「にしみたか学園アクションプラン」を策定中です。昨年度はPTA・CS委員会・町会等の地域団体・教員そして児童・生徒たちがそれぞれの立場から具体的にどのような取り組みができるのか、対面による会議（熟議）やタブレットを活用したりリモート会議を行い、取り組むべきプランが完成しつつあるところです。

動により、子どもたちに多くの制限が課せられています。そんな中でも「学びを止めない」ことが学校教育で大切なことです。1月から導入された一人1台のタブレット等を有効に活用しながら個別最適化（一人一人のニーズに合った教育の提供）を目指して学園の教育活動を進めているところです。また、昨年度実施できなかったブレ講座（小6対象の中学校授業体験）や部活動見学も実施予定です。制限の多い中で子どもたちには我慢を強いられる場面が増えていますが、にしみたか学園の子どもたちは授業や行事に集中し熱心に取り組んでいます。ご家庭や地域の方々にはこれまで以上に子どもたちの不安を受け止めていただき、これからの未来に向けて夢をもって生活し、新たな伝統を創っていただけるよう、ご支援をいただければ幸いです。



青木 睦
にしみたか学園
学園長

令和3年度はじめのご挨拶

今年度より副会長となり評価部を担当しております中山です。長女が中学3年生だった時に二中のPTA会長となりCS委員会に足を踏み入れて4年目となりました。

皆さんはPDCAという言葉を知っていますか？（知らない方はググってみてください）PDCAを効果的に回すためには定期的な評価と改善（アクション）が必要です。

平成30年の夏に教員とCS委員で、にしみたか学園の子どもたちの強みと弱みについて話し合い、「目指す児童生徒像」をまとめ、学園の教育目標を加えた4本柱を定めました。

①自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いていく児童・生徒
②失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童・生徒
③常に学び続ける児童・生徒
④共に生きる力を育んでいく児童・生徒

これを実現するための「にしみたか学園アクションプラン」をまとめるのが今年度の評価部の役割です。昨年はコロナ禍の中、子どもたちや地域の方々も交えた熟議を通じて数多くのキーワードを抽出できました。子どもたちの未来をより良いものにするために、子ども、家庭、学校、地域が手をとり合って高めあえる様なアクションプランを皆で一緒に作っていきたくと考えています。ご協力よろしくお願ひします。

評価部



中山 裕之 部長
メンバー
吉松 勲
菊田 誠
白井 純一郎
宮崎 望
五味川 直季
小坂橋 義夫

SC推進員とは



永井 三恵 来住 睦美

「SC推進員」は、にしみたか学園に導入されて3年目ですので、ご存じない方も多いと思います。SCはCSの間違ひではなく、「スクール・コミュニティ」、学校を縁として繋がる地域のことです。

「先生・保護者・地域の人の、地域の団体などが、コミュニティ・スクールに協力する過程で繋がりを強め、その結果、その地域が一層素敵なものになっていく」ことを目標に、まずは地域のみなさんと学園の間を繋いでいきたいと思ひます。学園や子ども達に関する事など、何かありましたら気軽に声がけください。

コミュニケーション推進部



亀井 寛之 部長
メンバー
美和 史 美行
睦子 晃 武 隆
住居 井 津 川
来住 米 熊 長
鳥居 井 武 長

CS委員になり、コミュニケーション推進部を担当して2年、今年度から副会長・コミュニケーション推進部部長となりました亀井です。

「コミュニティ・スクール」は地域で見守る学校づくりという視点から出発しており、未来の地域を担う子どもたちを、保護者や学校だけでなく、地域と一緒に育てて見守り、育てる「コミュニティづくり」ということになっています。地域のコミュニティが未だに豊かににしみたかはその視点を一歩進めて、地域が学びの場（学校）になるような学園づくりを目指せればと思ひています。

コミュニケーション推進部という長い部会の名前には「保護者・地域・学校との双方向のコミュニケーションを推進する」という思いが込められています。現在、コミュニケーション推進部ではCS委員の活動内容や、学校での子どもたちの活動の様子を、保護者や地域の方に伝えるべく、「コミュニティにしみたか」への寄稿

「CS委員会だより」や「SCカレンダー」の発行などの広報活動を行っています。今年度は、にしみたかの魅力あるヒト・コト・モノに出会えるように、こちらから行動し、それを子どもたちや地域の方々へ紹介し、新たなコミュニティの活力となるメンバーを発見していくコネクターになっていけるように、活動の幅を少しずつ広げていければと思ひます。